

お一人おひとりの健やかな生活をサポートします

ハートだより

ホームページ <http://www.nagasaki-hc.com/>

2008
Summer
No.1

院長挨拶

最新鋭の診断機器を導入して、最先端の医療を実現

皆様に暑中お見舞いを申し上げます。ながさきハートクリニック院長の坂井です。この度当院より情報紙を発行することになりましたので、ご挨拶申し上げます。

当院は去年12月に古川町より恵美須町に移転開院いたしました。8ヶ月が経過いたしました。開院当初は様々な事に戸惑い、患者様や他施設の先生方に多大なご迷惑をおかけしたこともありました。この紙面をお借りしてお詫言申し上げます。しかし、この8ヶ月間で新患も1500名を越え冠動脈治療や静脈瘤治療も多く手がけることができました。これも皆様のご支援の賜であり、感謝いたしております。

当初25名で始めたスタッフも現在では40名を越えました。医師も1人増え現在は5人体勢で診療に当たっております。

当院は「心臓病患者をいつでも診療し、早期治療を目指す」をモットーに日夜努力しています。特に狭心症や心筋梗塞(虚血性心疾患)では64列マルチスライスCTを導入し造影CTにて冠動脈を映し出すことができるようになったため、心臓カテーテル検査に代わり狭心症の検査の第一番にこの検査がなりつつあります。当院ではこの検査を毎月60名以上に施行し、結果も当日か翌日にはお伝えすることができる体勢を取っています。この検査ができるようになって「他施設でカテーテル検査を勧められたが、受けるのをためらっている人」、「おそらく違うと思いつつから狭心症の疑いが捨てきれない」と考えている先生方、「狭心症の既往がある患者様が他科の

手術をされる前に冠動脈を調べて欲しい」という他施設の医師や麻酔科からの依頼などが多くありました。来院した当日か遅くても翌日にはお返事をお書きすることができるよう、他施設の先生方にも大変喜ばれています。

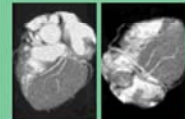
多田医師が担当している足の静脈瘤の治療ですが、ストリッピング手術もレーザーによる手術も日帰りで施行しているため、患者様自身のご紹介が広がり、新患は確実に増加しています。中には北九州市、大分市、五島列島からの患者様もいらつしゃっています。

また、3月15日には当院で心臓カテーテル治療のライブデモンストレーションを開催いたしました。冠動脈治療では世界的に有名な湘南鎌倉総合病院の齋藤滋先生を始めとして、日本中から約150人の専門家が長崎に集り、4人の患者様の治療をライブ中継で見いただきました。心臓カテーテル技術の勉強会を行いました。

このように我々スタッフは日々患者様のためにはと努力していますが、開院してまもないので、当院の存在すら知られていないのが現状です。今後は院内スタッフの充実だけではなく、広告などにも力を入れ、長崎において「心臓のことなら、ながさきハートクリニック」と言ってもらえるような施設作りを目指して行きたいと存じます。

最後に暑い日がまだまだ続きますが、皆様にはどうぞご慈愛の上、健康に留意されながらこの夏を過ごされるよう、お祈り申し上げます。ながさきハートクリニック 院長 坂井秀章

最新鋭の診断機器 64列マルチスライスCT



64列マルチスライスCTで撮影した心臓の画像



ライブデモンストレーション

ながさきハートクリニック

院長 医学博士 坂井 秀章 (写真中央)

〔主な仕事〕
循環器科の中でも虚血性心疾患の治療(心臓カテーテル治療)特に手前の動脈から行う心臓治療では各地でライブデモンストレーションの術者を経験、北光記念病院(北海道)・北海道社会保険病院(北海道)・湘南鎌倉総合病院(神奈川県)・兵庫医科大学病院(兵庫)・新行徳病院(福岡)・ながさき循環器病院(長崎)・福岡市第四人民医院(中国)・鎮州医学院付属第一病院(中国)

〔主な履歴〕
1985年 長崎大学医学部卒
1990年 長崎大学大学院博士課程卒
1990-1992年 長崎市立市民病院、長崎大学病院、佐世保市立総合病院
1993年 社会保険小倉記念病院 循環器科
1994年 北九州市立八幡病院 救急救急センター部長
2002年 理事長病院 循環器科主任部長
2003年 ながさき循環器病院 院長
2006年 ハートクリニック院長
2007年12月 ながさきハートクリニック院長



写真(中央)坂井院長 (左)山岸先生
(中央上)長野先生 (右)與那岐先生

血管外来からののご案内

健康セミナーの
お知らせ

第6回
テーマ「足の健康セミナー」

担当 当科心臓血管外科 多田誠一
開催日 平成20年8月23日(土曜)
開催時間 午後1時開演、2時終了
開催場所 ながさきハートクリニック2階研修室
足がむくむ、疲れやすい、夜間足が冷たい、こんな症状の方ぜひご参加ください。
※セミナー終了後、無料相談会を開催いたします。

最先端！ 下肢静脈瘤 レーザー治療

下肢静脈瘤とは簡単にいうと、足の表面の静脈がこぶ状または網目、クモの巣状に拡張し目立つようになった状態です。しかし、その原因はほとんどの方が足の付け根(ソケイ部)にあります。

もともと心臓から拍出された血液は動脈を通じて足先まで流れますが、心臓に戻る時は静脈を通じて足先から心臓までのぼっていきます。

そのとき、静脈には通常下から上には流れても上から下に逆流しないように「弁」が機能しています。

しかし、長時間の立ち仕事や妊娠出産などあらゆる原因により、その弁が壊れ一度逆流し始めると表面の静脈が拡張してくるのです。

これが一般的に見られる静脈瘤ですが、



心臓血管外科 部長 医学博士 多田 誠一

静脈瘤や足の血管の病気で悩んでいる方はたくさんいらっしゃいます。しかし、多くの方は放置し重症となつて初めて病院を受診されるようです。ながさきハートクリニックでは血管外来のみならず静脈瘤専門外来も併設し、皆様のお悩みを的確に診断し最先端の高度な治療法を用い、かつ体に負担の少ない方法で日帰り手術もしくは希望に沿った短期入院にて治療してまいります。なんでも気楽にご相談ください。

【略歴】

- 1994年 長崎大学医学部卒業
- 2001年 長崎大学大学院医学研究科博士課程卒業
- 2001年 大分県立病院 心臓血管外科勤務(副部長)
- 2005年 長崎市立病院成人病センター 心臓血管外科勤務(医長)
- 2006年 長崎大学医学部附属病院 心臓血管外科勤務(助教)

表在静脈の本幹である伏在静脈が拡張する伏在静脈瘤やその枝が拡張する側枝静脈瘤、更に静脈が細いタイプの網目状静脈瘤、クモの巣状静脈瘤など様々なタイプがあります。

特に伏在静脈瘤は、だるさやむくみや足がつりやすいなどの症状から始まり、少しずつ静脈が拡張し重症化すると血液が下腿にうっ血することで足が黒ずんだり(色素沈着)、なかなか治らない潰瘍が出来たりします。

これら治療するには早いうちに拡張した静脈の逆流する部分を抜き取るか、何らかの方法で閉鎖する必要があります。ひとつは重症化すると治療に難渋することが多い疾患です。

大伏在静脈に細いレーザーファイバーを刺入し静脈の内側からレーザーで焼灼して閉塞させる方法です。

臨床応用は2001年にアメリカにて開始されました。

当初はダイオードレーザーを使用し波長が810nmのレーザーであったた



伏在静脈瘤

網目状静脈瘤

め高熱に達し術後皮下出血や痛みが強まることが問題でした。

しかし第2世代バルスヤグレーザーが開発され、波長が1320nmとなり従来の異なり赤血球ではなく水にレーザーエネルギーが吸収されるため血管壁に直接波及し閉塞させることが可能となりました。

しかもバルス波でありレーザーを断続的に照射するため高熱は発生しません。これにより焼灼された血管は数ヶ月で繊維化し閉塞されたままとなります。

この方法だけで治療可能な静脈瘤の場合は一箇所の穿刺か数mmの小切開で済みます。

非常に低侵襲でよい治療ですが、まだ日本では保険診療では認められておらず自由診療となります。

また、麻酔は局所麻酔と静脈麻酔併用です。日帰り手術となりますが、遠方の方や希望される方は入院可能です。

保険診療内の治療を希望される方には最適な治療法を組み合わせ、納得して頂いた方法で治療させて頂きます。

下肢静脈瘤についてのQ&A

Q.1 長年静脈瘤で悩んでいます。なかなか勇気がなく受診できません。痛い検査も受けなければ治療は出来ないのでしょうか？

A 以前は、足の甲あたりから針を静脈に刺して、下肢静脈造影を行われていました。これは、痛い検査ですが、当院では通常の静脈瘤の方は、超音波(エコー)検査にて診断します。皮膚の表面にゼリーを塗って静脈を診るだけで、診断がつきます。従って診察とエコーで治療方針を決めることができます。但し、足に潰瘍のある方は横になっていた大きな造影CTにて検査を行う場合もあります。

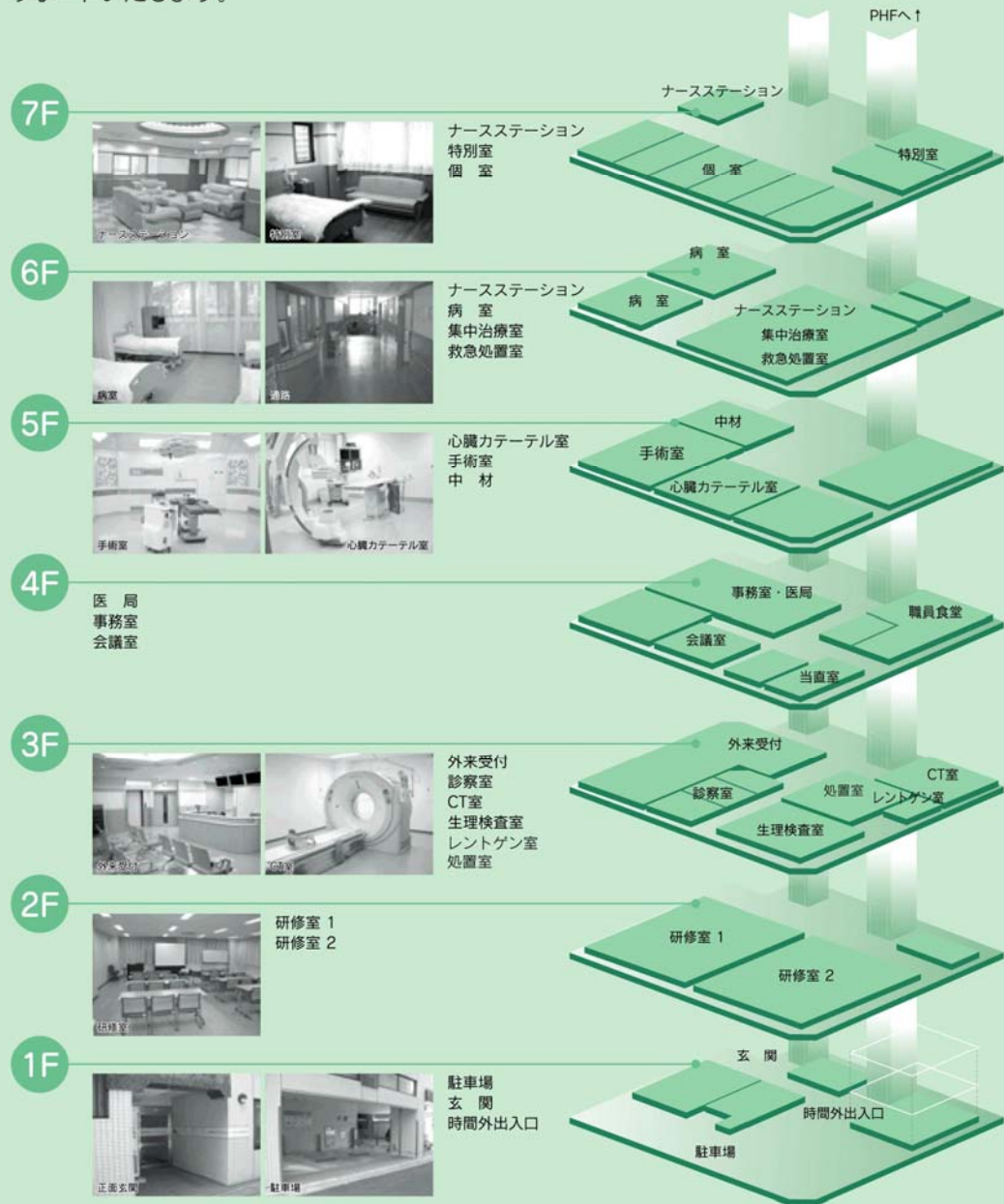
Q.2 静脈瘤の治療を受けたのですが、入院は必要でしょうか？

A 当院では静脈瘤のどんな治療法としておられます。静脈瘤の原因となる伏在静脈(逆流している静脈)のレーザー治療(通常、膝下あたりから針を刺してレーザーファイバーを静脈の中に挿入しレーザーを静脈の内側から照射し閉塞させる方法)ではもちろんですが、ストリッピング手術(伏在静脈を抜き取ってしまふ方法)でも、日帰り手術可能です。通常レーザー手術は30分から1時間、ストリッピング手術は1時間から1時間30分です。いずれでも手術終了直後から約20分程度歩き、術後の注意事項をきいて頂いた後帰宅可能です。術前の待ち時間は2、3時間程度です。遠方から来られる方の場合、あらかじめ手術日を決め、それにあわせて当日診察させて頂き対応があればそのまま日帰り手術としております。もちろん、不安の強い方や、都合の悪い方は1泊入院も可能です。

FLOOR INFORMATION フロアのご案内



院内は、充実した設備と、広々とゆとりある快適空間。
最先端医療に携わってきた優れた専門医が患者様にハートのこもった、
きめ細かなアドバイスをを行い、お一人おひとりの健やかな生活を
サポートいたします。



～各担部からのご挨拶～



医事課

こんにちは。医事課です。
笑顔をもっとに心のこもったコミュニケーションを大切に、皆様のサポートができる様、精一杯頑張っております。



看護師

暑中お見舞い申し上げます。
暑い日々が続いておりますが、いかがお過ごしでしょうか。昨年にも増して暑さが厳しく感じられます。お身体を大切に お過ごし下さい。



看護助手

朝顔の花も咲き、夏の暑さもしだいに厳しくなってきましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。私たちは皆様との会話を楽しみに 毎日仕事に励んでおります。健康にはくれぐれもお気を付けて下さい。



医療技術部

私たちは医療技術部です。
現在6名で検査、治療や手術のサポートにがんばっています。今まで磨いてきた技術を生かして最先端の医療技術の提供に日々、努力を続けています。



医局

はじめまして。事務部は6月より新体制でスタートしました。この広報誌も初の試みですが、これからも新しいアイデアで病院を盛り上げていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。
こんにちは。栄養科です。栄養科では入院された患者様に御満足頂ける食事を目標に、日々努力しております。お食事を通して皆様と深く関わっていききたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

ながさきハートクリニック
救命講習会

6月21日(2F研修室)



心肺蘇生

- ①肩を軽くたたきながら、大声で呼びかけて反応を確認します。
- ②大声で叫び、119番通報とAEDの手配をします。
- ③負傷者の顔を押しさえ、あごを持ち上げることで負傷者ののどを開放、空気が通りやすくして気道を確保します。
- ④約10秒の間、負傷者の胸の上下の動きを見たり、息の音を聞くなどして呼吸を確認します。
- ⑤呼吸をしていない場合は、1回約1秒の人工呼吸を2回実施します。(感染防護具がないか、口と口の接触にためらいがあるときは、人工呼吸を省略できます。)
- ⑥その後、ただちに胸骨圧迫を開始します。胸骨圧迫は、負傷者の胸の真ん中に両手を重ね、両肘を垂直にのばして体重をかけて、強く(胸が4～5cm沈む)、速く(1分間に約100回)、絶え間なく(30回連続が目標)行います。



救命講習を受けて

医局 野崎

今回救命講習を受講すると聞いて、苦手意識が先に立ち最初はとても不安でした。
講習では、始めに1つ1つの動作を順番に練習していきましたが、始まってすぐに胸骨圧迫の訓練が始まり早くも脱落しそうでした。しかし、訓練を続けていくにつれ一連の流れもつかめ手順に沿ってできるようになったので少しは自信が持てるようになりました。今回このような機会を与えていただき大変貴重な体験をすることができました。
技術面ではまだまだですが、その場に居合わせた時に最初の一步を踏み出すことがほんとに大切なことだと分かりました。医療業に携わる者として、AEDが置いてある場所を把握しておくなど、日頃から意識を高めておく重要性を改めて実感することができました。



ながさき 循環器内科
心臓血管外科
ハートクリニック

〒850-0056 長崎市恵美須町4-1(桜町バス停前)
TEL.(095)818-4199
FAX.(095)818-4799

- 診療時間/午前 8:30～12:00 午後 6:00～ 8:00
- 休診日/日祝日、土曜午後、年末年始

ホームページ <http://www.nagasaki-hc.com/>

ながさきハートクリニック 外来担当医師

午前8時30分～12時まで	月	火	水	木	金	土
第1診察室 (循環器内科)	新患・再来 坂井	新患・再来 坂井	新患・再来 坂井	新患・再来 坂井	新患 坂井	
第2診察室 (循環器内科)	再来 長野	再来 與那城		再来 長野	再来 與那城	新患・再来 長野/與那城(隔週交代)
第3診察室 (血管・静脈外科)	血管外来 多田	静脈外科 多田	血管外来 多田	静脈外科 多田		新患・再来 多田(第1,3,5週)

午後6時～8時まで	月	火	水	木	金
夜間一般外来	坂井	長野	多田	與那城	山岸

※1階コインパーキングは、外来受診者様に限り1時間の無料サービスを行っております。
※土曜日の外来は交代制となっておりますので、前もって担当医をご確認ください。
※ご不明な点は、お気軽にお問い合わせください。 ☎095-818-4199